

リーディングDXスクール事業【実践事例】

北海道帯広柏葉高等学校（北海道）【指定校】

【取組内容】管内の高等学校との協働によるICTを活用した授業モデルの創出と横展開

ICTを効果的に活用した授業モデルの創出と横展開をねらいとして、本校と近隣高等学校の教員とで結成した授業創出チームが、授業での効果的なICT活用について検討と実践を重ね、管内の教職員を対象とした「十勝ICTサミット」において、1人1台端末とクラウドや、生成AIを活用した授業を公開し、研究発表や研究協議を行うなど、共同実践の成果を発信した。

Action① 授業創出チームの結成

十勝ICTサミット（第2回：12月）での授業公開に向け、十勝ICT推進プロジェクトのメンバーを中心に、道立・私立高等学校の教員と北海道教育委員会指導主事で授業創出チームを結成

- ・ 端末とクラウドの活用：2チーム（地歴公民・外国語）
- ・ 生成AIの活用：3チーム（国語・理科・芸術）

- * 十勝ICT推進プロジェクト
令和4年度、十勝管内の全校種の学校で構成
- * 十勝ICTサミット
年間複数回、管内の教職員が集合し、ICT活用に係る情報交換等を実施

Action② キック・オフ会議の開催

結成した5つのチーム合同で、キックオフ会議を実施し、チーム結成の目的やゴールイメージ、取組内容や方法等を共有・確認



【取組方法】

- ・ チーム員間の連絡や日常の授業実践交流は、コミュニケーションソフトウェアやオンライン学習システムを活用
- ・ チームミーティング（指導案検討や研究協議会での授業解説等）は、WEB会議システムを活用

Action③ 授業モデルの創出に向けた取組

〔チームミーティング〕

サミットでの授業者が単元構想を説明し、チーム員で自身の実践や参考となる先行事例等を共有した上で、ICTや生成AIの効果的な活用場面・方法等について検討

〔第1回十勝ICTサミット〕

学校DX戦略アドバイザーの講演や各校種の教職員によるパネルディスカッション、協議等で、ICT活用に係る課題や改善策等の情報を収集

〔LDXスクール事業指定校主催の研修への参加〕

授業参観や授業解説を通じて、ICTの効果的な活用に係る情報を収集

〔オンライン授業検討会〕

チーム員で収集・共有した情報を整理し、ICT等の活用を検討しながら、授業公開に向けた指導案検討を複数回実施

〔第2回十勝ICTサミット（兼LDXスクール事業指定校成果報告会）〕

チームで創出した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実・生成AIを活用した授業モデルを公開し、研究協議で授業で育成を目指す資質・能力やICT及び生成AI活用の意図などについて解説



※授業概要：様式 I - 1・3、様式 III - B2・3・4 参照

成果

授業モデル
検討・実践

学習者は課題解決に向けて自己調整を図りながら思考し、他者と協働して考えを整理・表現

公開授業
授業解説

管内教職員のICTを効果的な活用した授業に対する意識の高まり